



ロベルト酒井の

# 南十字の空から

平成 25 年度 ブラジル通信

No. 7 9 月 27 日～9 月 29 日

発行者 豊橋市教育委員会

酒井 憲一

## 「めぐみ学園」で感じたこと

### 給食の班決め

「水曜日の僕の授業は午後だけ」というように、給食を食べる児童の人数が毎日変わります。したがって席や配膳の順番を固定することができず、自由な状態でした。そこで校長先生がくじを作り、毎回、席や順番を決め、理路整然と配膳をするようにしました。そして全員が配膳できてから「いただきます」を言って食べます。ブラジルでは珍しいことです。また給食を残さず食べさせていて、食育の推進に感心しました。



給食のくじ

### 日本でも珍しい「昔」を発見！

昼休み後の授業に、「家にある古いものを持ち寄ろう！」というテーマがあるようで、昼休みの時間に子どもたちは、珍しいものを見せ合っていました。さすが日系人の児童が多い学校です。日系 1 世の入植時の白黒写真や昭和初期のカメラ、昭和のレコードを見せていました。残念ながら授業を見られませんが、日系人の方々が日本を大切にしている温かい心に触れた思いでした。



昭和初期のカメラ



美川憲一のレコード

### 部活動（クラブ活動）ではなく「習い事」



和太鼓教室

毎週木曜日 18:30(えっ？実は本当です)の授業終了後 18:45～19:30 まで、フットサル教室と和太鼓教室が開かれます。ブラジルはまだ治安が悪く、子どもの移動はすべて親同伴です。しかし両親が働いていることが多いので、授業後の移動に付き添うことができず、そのまま学校に残り、学校が会場となる習い事をするというわけです。

ブラジルというと、空き地でサッカーをしているイメージですが、それは昔のことで、私がブラジルに来てから、そのような光景を見ていません。めぐみ学園のように朝早くから夜遅くまで学校にいる子が多いですが、子どもたちにとってそれは負担ではなく、友達といっしょに長くいられるという幸せがあるから苦にならないそうです。家に帰れば、一人で友達の家遊びに行ったり、空き地で遊んだりできないからです。したがって、日本から帰国した子どもたちがストレスをためることも当然です。

最後に、めぐみ学園創立者の酒井政廣氏および校長の酒井アユミ氏には、公私ともにお世話になり深く感謝申し上げます。また坂柳先生のご健闘をお祈り申し上げます。



酒井政廣氏とアユミ氏

## パラナ日伯文化連合会およびロンドリーナ・モデル校（日本語学校）訪問

9月27日（金）に上記を訪問しました。モデル校だけあって、施設や教材、スタッフが充実していました。ここは、パラナ州日系人会の中心的役割を担っているのも、広岡副会長と北西校長と共に、パラナヴァイ市の日本語学校再建について意見交換し、以下のような再建への道筋が立ちました。



広岡副会長と北西校長

- ・一人でもよいので、ボランティアで教師をしてくれる人を探す。
- ・土曜日など、はじめは週1回で再開すればよい。
- ・言語を学ぶというより、日本文化を学ぶという姿勢でよい。

訪問した日が、ロンドリーナ地区の各日本語学校の教師の研修会の日でした。私も参加し、文法の研修や切り絵の実習などを受けました。こうした地道な研修が教師の資質向上につながっているのでしょうか。そこで問題です。右の文章の「は」と「が」の使い方の違いについて説明できるでしょうか？これは研修で出された例題です。

- ① ローマ法王は、リオでミサを行いました。
  - ② ローマ法王が、リオでミサを行いました。
- \*紙面の都合上、説明は省略します。

知りたい方は、ロベルト酒井まで個別に！

## イビポラン日本語学校訪問



9月28日（土）に上記の学校を訪問しました。ここは閉校状態から4年前に再開し、現在土曜日のみ授業を行っています。再会した理由は、現在の教師が甥から日本語を教えてほしいと言われ、承諾すると甥が友達を連れてきて7人集まったそうです。それがきっかけで、学校再開につながったそうです。

学校で感心したことが、授業後の掃除です。多くの日本語学校が、号令やあいさつ、掃除を取り入れることで、ブラジルの子どもたちにはない「学習規律」を身につけさせていています。これが評判になって日本語学校への入学生徒が絶えないという現状もあるようです。

### ロベルト酒井の「こんな時どうスルー？」

前号の答えは②です。（右端写真）理由は、速く傘を乾かしたいということです。お店に行けば傘立てはありますが、オフィスや自宅など傘を広げてもかまわないところでは、広げているそうです。「折り畳み傘」でひっかかった方もいるでしょうが、クリチバは急な天候の変化があるので、折り畳み傘をカバンに入れておくことは常識だそうです。

それでは第7問。私はクリチバから約400km離れたロンドリーナまで、どのような交通手段で移動したでしょう？

① 飛行機



② 長距離バス



③ 自転車



答えは次号で！